

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：城陽市）

タイトル	介護給付適正化事業の実施
------	--------------

現状と課題	
<p>縦覧点検・医療情報との突合については、国保連合会より送付される適正化情報により点検を行っている。そのうち、軽度者の福祉用具貸与について、確認書の提出がないままレンタルをしているケースについて、給付費の返還を求めるケースが年に数件程度見られる。</p>	
第8期における具体的な取組	
<p>国保連合会から送付される情報を元に、毎月点検を行う。その中で疑義があるケースについて事業所等に問い合わせを行い、適正な給付の実現に取り組む。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>適正化の点検を毎月行い、その中で疑義があるケースについて事業所等に問い合わせを行い、適正な給付の実現を目指す。</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none">● 時点<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 中間見直しあり<input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ● 評価の方法<ul style="list-style-type: none">点検回数をカウントする。また、返還金額の縮小を目指す。	

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：城陽市）

年度	令和4年度
----	-------

実施内容

適正化の点検の中で、軽度者の福祉用具貸与について、確認書の提出のないままレンタルを行っていたケースがあり、給付費の返還を求めた。また、全事業所に対して、再度申請についての周知を行った。

自己評価結果

給付費の返還を求めたケースについて、返還が完了している。また確認書の提出もれがないように事業所周知に努めており、以降は返還を求めるケースは発生していない。

課題と対応策

今後も、給付費の返還を求めることがないように、運営指導や通知文書などで事業所周知などに努めていく。